

作成日: 2008年2月18日  
改訂日(V.4): 2009年6月19日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名: **ブイゲットプリンスリンパーL粒剤**

会社名: 日本農薬株式会社  
住所: 〒103-8236 東京都中央区日本橋 1-2-5 栄太楼ビル  
担当部門: 環境安全部  
TEL. 03-3274-1887, FAX. 03-3281-5462  
e-mail: kankyuanzen@nichino.co.jp

休日の連絡先: 04-2929-8961 (A L S O K)

用途及び使用上の制限: 農業用殺虫・殺菌剤、農薬登録以外の使用は不可

MSDS番号: 528-119(M07-37)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	区分3
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性・刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分外
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(神経系)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(神経系)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(慢性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



##### 注意喚起語

危険

##### 危険有害性情報

吸入すると有毒

眼刺激

生殖能または胎児への影響の恐れの疑い

臓器の障害(神経系)

長期にわたるまたは反復暴露による臓器(神経系)の障害

長期にわたるまたは反復暴露による臓器(肝臓、腎臓、甲状腺)の障害の恐れ

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

【予防策】

- 取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。
- 全ての安全注意書を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 使用前に取扱い説明書を入手すること。
- 個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
- 粉塵の吸入を避けること。
- 屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 必要な時以外は環境への放出を避けること。

【対応】

- 暴露又はその懸念がある場合、医師の診断を受けること。
- 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪いときは医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。
- 眼の刺激が続く場合は医師の診断を受ける。
- 漏出物を回収すること。

【保管】

- 容器を密閉して換気のよいところで施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

その他の危険有害性：特に無し。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：

- (1) (±)5-アミノ-1-(2,6-ジクロロ- $\alpha, \alpha, \alpha$ -トリフルオロ-*p*-トルイル)-4-トリフルオロメチルスルフィニルピラゾール-3-カルボニトリル  
(一般名 フィプロニル)
- (2) 3'-クロロ-4,4'-ジメチル-1,2,3-チアジアゾール-5-カルボキサニリド  
(一般名 チアジニル)
- (3) (RS)-5-クロロ-N-(1,3-ジヒドロ-1,1,3-トリメチルイソベンゾフラン-4-イル)-1,3-ジメチルピラゾール-4-カルボキサミド  
(一般名 フラメトピル)

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
フィプロニル	1.0%	120068-37-3	—	—
		化管法第一種指定化学物質		
チアジニル	6.0%	223580-51-6	8-(7)-1324	—
フラメトピル	4.0%	123572-88-3	8-(2)-1757	—
〈その他〉				
含水珪酸	1.28%	112926-00-8 60676-86-0	(1)-548	(1)-548
鉱物質微粉等	残	—	—	—

安衛法通知対象物

#### 4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を速やかに新鮮な空気のある場所に移す。異常が現れた場合には、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

眼に入った場合： 直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。刺激が続く場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合： 口の中をすすぎ、カップ1～2杯の水を飲ませる。直ちに医師の診断を受ける。意識がないときには口から何も与えてはならない。フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されている。

#### 5. 火災時の措置

消火時の注意： 消火活動には適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用し、風上から作業する。高温により発生するガス、煙を吸い込まないように注意する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

消火剤： 粉末、泡沫、炭酸ガス、水

#### 6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、保護メガネ、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、粉塵やガスを吸い込まないようにする。漏出物を密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意する。適切な保護具を着用し、粉塵を吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管： 容器を密封し、換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かないところに施錠して保管する。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。  
防塵マスク、保護メガネ、保護衣(長袖・長ズボン)、ゴム手袋

#### 9. 物理的及び化学的性質

外観： 淡褐色細粒  
比重： データ無し。  
pH： 9.0～10.0/20°C(1%水懸濁液)  
引火点： データ無し。  
自然発火性： 常温で空気と接触しても自然発火しない。

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性： 通常の条件下では安定。  
 危険な反応： 知られていない。  
 有害な分解物： 燃焼すると有害ガス (HCl、HF、CO、SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub> 等) が発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

- 急性経口毒性： ラットLD<sub>50</sub>値 (mg/kg) ♀ >2,000  
 2000mg/kg 投与で死亡例や中毒症状無し。  
 急性経皮毒性： ラットLD<sub>50</sub>値 (mg/kg) ♂, ♀ >2,000  
 2000mg/kg 投与で死亡例や中毒症状無し。  
 急性吸入毒性： 区分3に分類されるフィプロニルを1%以上含有することから区分3とした。毒性未知成分は98.9%。  
 皮膚刺激性： ウサギ 刺激性無し。  
 眼刺激性： ウサギ 極軽度刺激性あり。  
 皮膚感作性： モルモット 陰性  
 生殖毒性： 区分2に分類されるフィプロニルをカットオフ値の0.1%以上含有することから区分2とした。毒性未知成分は92.5%。  
 特定標的臓器毒性(単回暴露)：  
 区分1に分類されるフィプロニルをカットオフ値の1%以上含有することから区分1とした。毒性未知成分は98.9%。  
 特定標的臓器毒性(反復暴露)：  
 区分1(神経系)および区分2(甲状腺、肝臓)に分類されるフィプロニルと、区分2(肝臓、腎臓)に分類されるチアジニルをカットオフ値の1%以上含有することから、区分1(神経系)、区分2(肝臓、腎臓、甲状腺)とした。毒性未知成分は92.3%。

## 12. 環境影響情報

- 水生環境有害性(急性)： 区分2  
 コイ LC<sub>50</sub>値/96hr 281mg/L  
 オオミジンコ EC<sub>50</sub>値/48hr 1.8mg/L  
 藻類\* EbC<sub>50</sub>値/0-72hr 17mg/L  
 ErC<sub>50</sub>値/24-72hr 39mg/L  
 (\* *Pseudokirchneriella subcapitata*)  
 水生環境有害性(慢性)： 区分2  
 急性区分2で、急速分解性と生物蓄積性に関するデータがないことから区分2とした。

## 13. 廃棄上の注意

- 法、条例等に従い安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。  
 空容器：内容物を使い切った後、適切に処理する。

## 14. 輸送上の注意

- 容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

## 15. 適用法令

- 農薬取締法  
 労働安全衛生法  
 通知対象物(法57条の2)：含水珪酸(政令番号312)

化学物質排出把握管理促進法

指定化学物質	2009.9.30 まで(改正前)	2009.10.1 から(改正後)
フィプロニル	第1種・18	第1種・22

(2008年の政令改正による改正後の政令番号を併記しました。2010年3月31日までのPRTR集計は改正前の区分・政令番号、2010年4月1日からのPRTR集計は、改正後の区分・政令番号にもとづいてください。)

16. その他の情報

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。またヒトに対する危険、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。